



2026年の軍用ドローン市場：次世代UAV技術による防衛能力の向上

フォーチュン・ビジネス・インサイトによると世界の[軍用ドローン市場](#)は急速に拡大しており、2023年の市場規模は141億4,000万米ドルと評価されています。

市場は2024年の160億7,000万米ドルから2032年には471億6,000万米ドルへと成長し、**予測期間中の年平均成長率（CAGR）は14.41%**と見込まれています。

地域別では、2023年に北米が36.1%の市場シェアを占め、市場をリードしました。

また、米国市場は研究開発投資の増加を背景に、2030年までに107億1,000万米ドル規模へ拡大すると予測されています。

軍用ドローン（UAV：無人航空機）は、遠隔操作または自律飛行が可能な航空システムで、以下のような用途で使用されます。

- 情報・監視・偵察（ISR）
- 戦闘支援
- 物流輸送
- 地図作成・測量
- 標的捕捉

高度なセンサーやカメラを搭載することで、リアルタイムの状況把握と意思決定の高度化を実現します。

市場成長を支える主要要因

国防支出の増加と調達拡大

各国で軍事予算が拡大しており、先進的な無人航空機の導入が進んでいます。

UAVは乗員を必要とせず、遠隔操作や自律飛行が可能なため、リスクを抑えた作戦遂行が可能です。

また、小型の特攻型ドローンから大型の長距離ドローンまで、多様な用途で採用が進んでいます。

軍用ドローン市場の重要ポイント

市場規模と予測

- 2023年：141.4億米ドル
- 2024年：160億7,000万米ドル
- 2032年（予測）：471億6,000万米ドル
- CAGR（2024～2032年）：約14%

市場シェアの特徴

- 北米：36.1%で首位
- 固定翼ドローン：主流セグメント

主要国のハイライト

- 米国：MQ-1C Gray Eagleなどで大型契約を締結し、輸出も主導
- ウクライナ：700機以上の特攻ドローンを戦術運用
- ロシア：Shahed-136無人機を配備
- 中国：GJ-2ドローンをパキスタンに供給
- 英国：ISR強化のため戦術ドローンに投資

ロシア・ウクライナ戦争の影響

ロシア・ウクライナ戦争では、ドローンが戦場の主力装備の一つとなっています。

主な用途：

- 情報収集
- 監視
- 標的捕捉
- 特攻攻撃

この紛争により、各国の軍事戦略におけるドローンの重要性が高まり、市場需要を押し上げています。

サンプルPDFはこちらから入手できます: <https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/問い合わせ/リクエスト-サンプル-pdf/軍用ドローン市場-102181>

市場の主要トレンド

AI・自律飛行・群制御技術の進展

軍用ドローンは急速な技術進化を遂げています。

主な技術トレンド：

- AIによる自律意思決定
- ステルス設計
- 群制御（スウォーム）技術
- 高度センサー搭載

搭載される主な装備：

- 高解像度カメラ
- 赤外線センサー
- LiDAR
- 電子戦装置

- SIGINT（信号情報収集）

市場の抑制要因

規制と安全保障上の懸念

市場成長を制約する要因：

- ミサイル技術管理レジーム（MTCR）などの規制
- データ漏洩リスク
- 地政学的緊張
- 特定国製ドローンの使用制限

これらの規制が国際取引や市場拡大に影響を与えています。

セグメンテーション分析

製品タイプ別

- 固定翼
- 回転翼
- ハイブリッド翼

固定翼ドローンが最大シェアを占め、長時間飛行や高積載能力により戦略任務に適しています。

範囲別

- VLOS（目視内）
- EVLOS（拡張目視）
- BLOS（目視外）

EVLOSが最高CAGRを示す見込みです。

技術別

- 遠隔操作型（最大シェア）
- 半自律型
- 完全自律型（最高成長率）

システム別

- 機体（最大シェア）
- 推進装置
- アビオニクス
- ペイロード
- ソフトウェア

用途別

- ISRT（情報・監視・偵察・標的化）※最大セグメント
- 物流・輸送
- 戦闘作戦
- 戦闘被害評価

地域別市場動向

北米

- 最大市場
- 米国の主要OEMが市場を牽引
- 高度UAVの輸出で優位性

欧州

- 軍事近代化で需要増
- 戦術ドローンの調達拡大

アジア太平洋

- 最速成長地域
- 中国やインドの調達拡大が牽引

その他地域

- 市場浸透は限定的
- イスラエル企業が技術開発を推進

サンプルPDFはこちらから入手できます: <https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/問い合わせ/リクエスト-サンプル-pdf/軍用ドローン市場-102181>

主要企業

主な軍用ドローンメーカー：

- General Atomics（米国）
- Northrop Grumman（米国）
- Lockheed Martin（米国）
- Boeing（米国）
- Thales Group（フランス）
- Elbit Systems（イスラエル）
- Israel Aerospace Industries（イスラエル）
- BAE Systems（英国）
- Saab（スウェーデン）
- AeroVironment（米国）

最近の主な業界動向

- 2023年2月：インド軍が850機のナノドローン調達を発表
- 2023年2月：米空軍が顔認識搭載UAVを開発
- 2023年1月：米国防総省が新型攻撃ドローン契約
- 2023年6月：Northrop GrummanがMQ-4C Tritonを納入

まとめ

軍用ドローン市場は、国防支出の増加、AI技術の進展、地政学的緊張の高まりを背景に、年平均14%超の高成長が見込まれています。

特に自律飛行、群制御、AI統合が今後の市場競争力を左右する重要技術となるでしょう。